

創設70周年

国連の仕事は？



UN Photo/JC Mclwaine

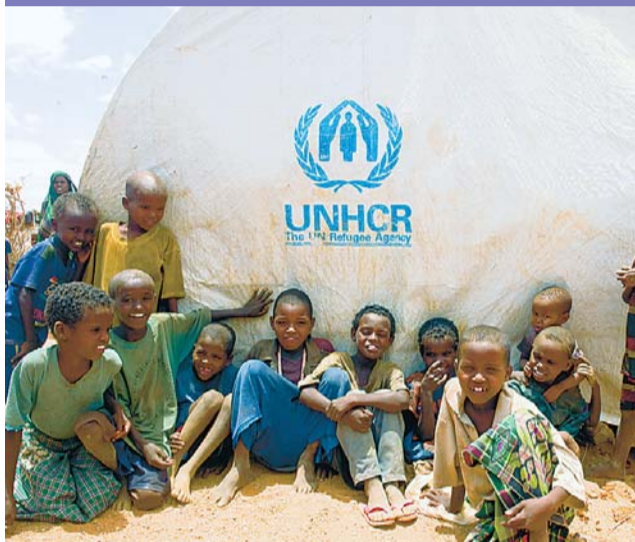
国際連合(国連)が今年、創設70周年を迎えます。外交の場として、グローバルな課題に取り組む国際機関として、重要な役割を果たしてきました。どんな組織なのでしょう？【大井明子】

80か国で9000万人の人々に食料を支援しています



UN Photo/Martine Perret

難民や戦争・飢饉・迫害から避難した人々など3870万人以上を助けています

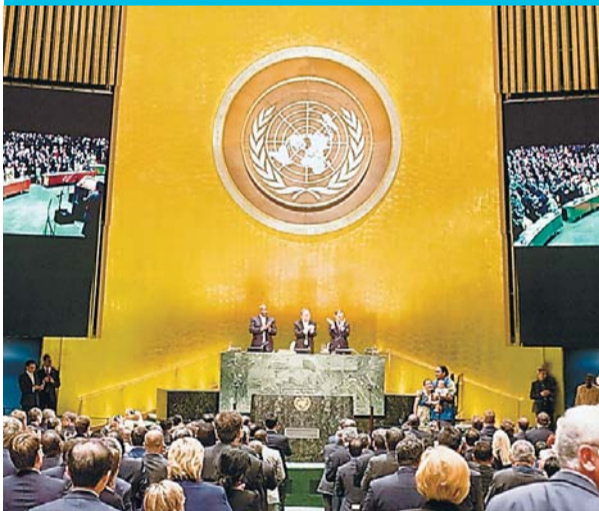


UN Photo/Eskinder Debebe

国連のあらまし

- 創設：1945年
- ・日本が加盟したのは1956年
- 加盟国数：193か国
- 事務総長：潘基文
- 予算：約27億7100万ドル(約3270億円)(2015年の通常予算)
- ・うち日本の分担金：約2億9400万ドル(約347億円)
- 公用語：中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語、アラビア語
- 職員数：4万1426人(2014年6月時点)

加盟国193か国とともに、気候変動と持続可能な開発の実現に向けて取り組んでいます



UN Photo/Mark Garten

世界の子どもたちの58%に予防接種を行い、毎年300万人の命を救っています



UN Photo/Sophia Paris

国際連合(国連)は、第二次世界大戦の反省にたち、終戦直後の1945年に創設されました。その目的は、

- ①世界の平和を維持すること
- ②国と国の友好関係を育てること
- ③国際問題の解決や人権を守る活動に協力すること
- ④これらを達成するため各国が協力するよう、間に立て中心的な役割を果たすこと——です。

Interview

国連の活動を広く人びとに知ってもらう役割を持つ国連広報局の、アウトリーチ部長を務める、マーヘル・ナセルさん=写真=にお話を聞きました。



——70年をふり返って、国連のもっとも大きな成果は何でしょうか？

一番の成果は、国と国の争いごとを、武力ではなく、話し合いで解決する場を作ったこと。紛争を防いだり、早期に終わらせたりすることに貢献しています。

貧困、男女差別、人権侵害、環境問題などにも取り組んでいます。特に最近では、テロや地球温暖化、鳥インフルエンザやエボラ出血熱など、一つの国では解決できないグローバ

世界で起きていることに
関心持って

ルな問題が深刻化しているのです、その役割はますます重要になっています。

——日本の子どもたちにできることは何でしょうか？

世界で何が起きているか知り、関心を持ってほしいです。世界はますます「小さく」なっていて、日本で暮らすみなさんも、外国で起きていることと無関係ではいられませんから。

——ナセルさんは、子どものころから国連に関わりがあったそうですね。

私はパレスチナ自治区のヨルダン川西岸地区で生まれ育ちました。子どものころは、国連が運営する、難民の子どもたちの学校に通ってました。学校の屋根には国連の旗がたなびき、支給されるノートや鉛筆には、国連のマークがついていたので、当時の私は、世界中の子どもが、自分と同じように国連の小学校に行っているものだと思っていたんですよ。